## 談室だより

No.78

北海道クリスチャンセンター 家庭福祉相談室事業後援会 会長藤川 知子 札幌市北区北7条西6丁目 TEL·FAX 011(746)6374

気にホッとしまし フ、ヴォランティアの集ま 昔と変わらな 祉 みみずく』カウンセラー た。 いその 家 和やかな雰囲いに呼んで頂 7 りに か 5 相談 にスタッ 幸 ᅺ. 3

力

す。 ら成長 他の子どもとのかかわや他のワーカーの存在 集団 との関係をまず意識し、 から成ります。 もとそれぞれ 親グルー の良さは何でしょうか? マンツー [あそび、 して どもグル プの存在 いきます。 親御さん 1 0 子どもは の存在に気付き、 当者おれるどがなっている。 寧な 徐 よぼけ まず 心に 方を学び 担 療 々にリー 育と 当 ワ IJ かびま 0) 楽 ŋ 子ど なが また 添う カー ダー ダー

だりして 難しい子」の育て方を発見したり学ん 我が子への理解も進み、「育ちにく れまでの苦労や悲しみを吐 集団の中で起こります。 ンセラーを囲 親グル し、共感し合 1 いきます。 プではほぼ十 んで話し どちらも ます。その 合ううちに、こ 0) 全ては 親 が い子、 中で、 お互 力 ゥ

しょう。 的 新しいプロ 来て行くのではない ダーを含む数人の 「ちびちび」 が、 ワー が 同 カーと子ど グラム の療育は数組 子ども に深まり ワー でも でしょう 同 士の 0 力 同 ーで 0 IJ ] の様 関 進 親

> でれをで いるのだと思い な 通は 61 L 知識 対 や人間 などの ます 関係 別学 一習と小 集団 り方を学ん 集団活

小集団 (グループ) の力

人の子どもについてらの指導やダメ出し武器だと思います。、関にはない相談室の す。 て方を学び の子どもについてみんなで考えより そうしてもう一つ大切 11 1 ا ا 方法を 一や新 の話合いです。 導やダメ出しでは 米ワー ダー 模索します。 みんなが成長しているその中でワーカー ~ ベテランが刺激を一カーが学び、共 室の大きなメ これが他 IJ ] 子び、若い人の先輩の経験に なく、 ダー な 派を受け 0) や先輩 0) リット、 . 人 一 いきま が ワ 0) 育 ま のに

新学良

合がス こって 従う タッフ会議 り越えて来たのだと思います。 相 その形 談 皆が納 室全 0) で はなく 得の も重要です。 0) 今まで いく形が 堂方針 幾 ルが決まって行出に意見を出り を決 度かの危 導者に 8 て行 行 皆 ζ L

り、 した①。 言 乗 人間 つまり b は社 文化も人とのふれ合い、 小集団の中で生まれてきま 会的動物だと言われます。 つなが

母さんたちを以降害に関係なり のように、 こっかけ ました②。 別とグル してきた児童虐待問題に 私が相談室を離 别 関係なく子育てに悩 0 でした。 ] ŋ 自 所に 0 由 助けたいと思ったことが 虐待防止 自分の 話せる空間 相談室の親 れたのは、 ウンセリングを始 相談室を作り、 になると確 関心 んでいるお グルー その頃 をつくる をもち、

が子がカワイイと思えない

0

き

上

ら動 ない。」 7 が 誰にも言えなか 7 Ļ 将来を心 しまう。 そ 1 h

を尊重し助け合うグル 個を圧し潰す集 寸 で ] は なく、 んい

場所がもっ ゲン著 鮫島・東村訳 ナカニシヤ出(参考文献 ①『関係カウニー……』 長して行きます。 っと増える事 ケネス・ガ を



何でも話せなかった、 せてもらいました。 < れるんだという事を目 な悩みを話 れる仲間 話せる、 って行きまし 同じ が いる、 吐き出せる、共感して、悩みを持つ人が居る、 それだけで人は変 自分だけじゃ 0) お母さんたち 当たりに べったこ な自 うつ

援』 相場幸子 遠見書房) ②『ママたちの本音とグループによる子育て支 日 本 プ 中にそんなく、お互 てな みんなでおしくらまんじゅう

士

0

お

喋 ン

P

情

交換に

す。

力

ウ

セ ŋ

ラ

1

を

交えて

0 徴 行

n 行

7

13

る事 別

b で

相 グ

談

室 1 ル

0 プ

特 が 7

61

ます。

子どもご

グ

1

プと

L

7

室

親

ル

々 信

0

支援とともに社会性を

育

を

持

0

7

取

ŋ

組

め

るよ

う

が 親 で わ 併 7 個 自

和 同

Z

で

は

な

13 報

事に安

# 子どもたち

たが、 13 0 程 お た。 かか 実 影 は 家 げげ 施 庭 響 コ 皆 口 福 で で で き 様 ナ 制 祉 年 Oウ な 相 約 イ を b 談 13 過 理 室 活 多 ル 一解とご \$ す 動 ス 事 b 感 染症 ここ二年 ができま あ 例 年通 協 りま 力 拡 0) 大 1

2021年度ケースの報告

2

7

9

1

7

退 継

室 続

計 計

支援 経 では、 プが 今 験 家庭 事 を あ 必 業とし 通 福 ŋ 要 ンツー *,*ます。 なな 祉 L 相 7 個 て、 支援 談 々 マン体制を取 0) 室 少の 子ども は、 課題を色々な してい グ 児 グル ル 童 ・ます ] 発 ŋ ] 達 0

す。 ます。 成 や不安に寄 し子育てを また、 長 保育 は、 を喜 所等訪問支援事業」 親 「育ち 6 だり、 子 ŋ 頑 張る基となっ が 添 0 61 S 応 保 ろ 護者 援 ば L あ 7 0) ち そび では、 悩 11 び 7

解を持 育 在 7 袁 籍 います。 を するお子さん 訪 って 問 お子さんの支援 Ļ 先 生 0) 一方と共 幼 稚 慰 を行行 通 理 保

グループ在籍児童の進路別人数

1 1

2 4

4

1 1

7

3 3

1

2 8 20 12 18

計 計

グループ別

相談室退室

相談室継続

相談室退室

相談室継続

相談室退室

相談室継続

相談室のみ

福祉機関

就

学

/[\

総

通常学級

特別支援学級

特別支援学校

その他・未定

路

公立幼稚園



ごし、

朩

ツ

と安心できる場

所

程

度 中

0

少 長

数

O

集団で

楽しく過

年

0)

グ

ル

]

プでは、

十名

ゆかいな ゆきだるま

育ちの広場 親子遊び 各グループ参加児対象 曜 H ちびちび 随時受け付け 前 相談室単独事業 . 時 ( 十 時 半

## 発達援助 グ ル

D グ E グルー Αグル 別療育日 二・三歳児 幼稚園保 幼稚園保 各グルー ĺV 1 1 プ プ / 水曜日(午前~) 体育園の年中年長児 育園の年少年 プ定員十名 火曜日 木曜日 月 (午前 金 (午後 (午後 曜 (午前~) (  $\mathbb{H}$ 中児 ( (

 $\bigcirc$ 

クリスマ お楽しみ会 家族の集  $\widehat{\underline{D}}$ ス 13 会

 $\bigcirc$  $\bigcirc$ 

お別れ

会

# MAN AND

そら高く とぶぞ‼

# ープ開室日

主 な 行

○遠足

就学についての説明 (ちえりあ・ 先輩母 会

 $\bigcirc$ 

# 事

### 放課後等デイサービス らるこ 計 介 者 家庭福祉相談室 7 0

児童発達支援 家庭福祉相談室

計

4

1

1

6

7

ぼ

他

介 者

保健センター

幼 稚 園・保 育 園

 $\mathcal{O}$ 

計

紹

**放課後等デイサービス** らるご

計

从	_/\	٠,٠٥٠
	退	継
所 属	室	続
	計	計
通常学級	3	19
特別支援学級	2	17
特別支援学校	1	6
合 計	6	42

2

1

年

度

0)

長

期

休

4

ブ

口

A 0

0) 2

1

0

札

幌

工

夕

0)

2

果 Ł

لح 増

な

0 て、

7

ま 庭

す 0) 不

家

族 が 言

13 増

で す

き 結

と

た V 13

X べ

バ 夕 係

が

13

ま

L

た。 乗 0

集

0 負 満

え

家 不

扣 を

た

工

]

]

思

わ

ず

ろ 空

習支援担

当

田

匠

7

余

し、

平

う

لح

過

去

関 ^;

0

な

13

屝

ဂ

工

レ

1

夕

を

使

13

ま

す

が

き イ び 隣 分 頂 架 0 ラ

た レ が

<

な あ

関 せ

わ

ず

事

が

1)

ま

ん。

行

き 必

た

1

イ

13 61

寄 13

る必

要 ら

が

あ

n ず

ま

### 

### 放 課 後 %庭福祉相談室後等デイサービ!

### 

### 余暇」 を学

0 0 援 が 筀 コ В あ 型 者 口 n ナ 0 (ま) 禍 13 家 L は 通 族 j 考 13 え 妹 は さ が 就 せ 13 労 B ま 継 n す 0 続 る Ł 支

くな 変 ま 所 \$ 通  $\mathbb{H}$ 所 L た。 す 落 化  $\mathcal{O}$ 13 لح L 0 0 b 分 様 で 散 が 広 連 < 内 \$ る ち、 7 あ 々 体 す。 容 範 n は、 13 通 る 長 な ょ す か 井 7 た n 制 中 0 Ĺ 手 う 結 だ 等 行 体 な 縮 13 平 な 立 果 数 13 活 0 育 0 13 小 (1) لح 0 7 な 疲 動 7 等 系 2 た H な 土 た を 0 L 制 < 制 施 事 0 つ n 曜 在 7 業 لح 継 7 約 n 設 活 7 る 限 活 は 体 宅 続 等 13 は る (3) 所 動 1 動 13 き 歩 様 幸 る 時 L 力 大  $\wedge$ 0 0  $\mathcal{O}$ が き ま け が 々 閉 後 事 間 7 ル 実 ほ 13 施 業 を な 大 な パ な 鎖 13 で ぼ 13 す 行 学 近 30 O高 5 グ 前 1 口

> を 上 下 ガ

切

る

0

で

が

ح

L

な

向

過

程

で す 0) 抜

将

来

あ

1) か

ま ż b

ガ

1 Ł

デ

ン

13

は

13

行

そ

行 け

程

は 工

片 ス

道 夕

か

B

地

下

13

7

]

デ

13

行

ŧ ス

ま

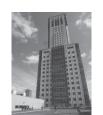
L

0) は で 切 力 口 0 ること」 1 グ 幅 グ 用 b 6 人 将 的 ラ を P ラ す る 時 لح 歩 きるこ 来 な支援 を ること 13 拡 仲 的  $\Delta$ 行 改 を そ 0 げ は P 間 設定 めて学 と 長 لح ること お 0) 限 きた P を 期 自 金 楽し n 施 して 中 力で を 公 1 ブ が (V 設 共 使 そ 心 口 人 あ لح むこと だ近近 を できること を 思 交 う グ P る 0 頼 ま 学 通 目 据 ラ えること 仲 1) 年 幅 機 لح 標 が 習 え 4 間 難 で 関 13 等 た 0 0) で か で す < を 中 大 自 で な B

す。 なこ ń 出 路 安 れ る 子 定 た 出 育 が 13 7 とで を 学 لح 時 か 会うこ 7 あ 校 7 間 0 7 6 る Ł 0 び 卒 は 幅 b 新 لح 達 13 7 特 業 لح たに な を 思 13 る 5 将 ||は 拡 学 13 え は 13 13 来 受 18 るこ な げ 自 童 か ま 様 力で  $\mathcal{O}$ け 歳 لح か 々 期 7 す 礎 ま 感 < な لح な 入 が 13 で ľ で 未 n か れ B き 社 P 0) 来 そ 7 る る 7 す 限 大 活 で 会 لح 13 進 余 ま 変 動 き 13 ほ ら

族 な 0 L 義 行 あ ] 切 る 寸 ン 13 n た。 等 れ で ス 動 n デ で な で と ま ス 時 ま たこ 夕 事 動 b で 0) 隣 テ ま 間 ツ 花 を 前 決 < L た た ラ 0) を た 学 ま 同 時 フ 目 0) が、 がとて 9 ス 13 じ 来 過 写 習 ŋ 13 が 指 テ 沢 工 等 を は た 真 L あ ラ す ガ ま を 覚 V 山 を 全 13 る b プ ż b 質 1 ベ 体 撮 行 L そう ح 問 寄 た。 る ] 印 V り、 デ か 13 ども n 象 イ が な 夕 5 L 帰 で 課 لح 言 ス で ガ が 離 的 7 が き 宅 屋 有 ] は 題 b が 13 で 0 n デ 7 家 上 ま 意 班 b 大 ガ 乗

願 13 ます



そらのガーデンとステラ9

ガーデンや遊びのできる広場があります。札幌駅直 通で他の目的と組み合わせやすく、公共交通機関利 用や待ち合わせ練習にも活用できます。





### こぐま座と中島児童会館(MASOBO)

中島児童会館には図書室・遊戯室・体育室に子ども 達が体験して学べるMASOBOがあります。昼食を とれるスペースもあり、こぐま座で観劇してから1 日を通して楽しむことができます。

で支援のお礼とお願い

長い冬が終わり、子どもたちには新たな出発の季節となりました。いつも相談室の働きを応援して下さり、また支えて頂いていますことをお礼申し上げます。この一年も、子どもたちの成長を願って、一人ひとりとの関係を大切に活動してまいります。そのような相談室、特にボランティアの方々のまいります。そのような相談室、特にボランティアの方々のもには、皆さまのご支援が不可欠です。どうぞ今後ともよるしくお願いいたします。

後接会会長藤川知子

### ご支援ありがとう ございました

ここに心からの感謝をもって支 援金納入者のお名前を掲載させて いただきます。

(2021, 11, 1 から 2022, 3, 31 までの 受領分・敬称略)

今小小小後栗熊工木北喜川川狩金加片奥奥岡太内卯受宇伊伊一市石石飯荒浅 藤 守 加 野林林西田城 藤村川多田岸野澤藤桐田田崎田海月川江藤藤色川丸川島木井 武裕邦藤隆み敏卓正優洋京紀 ひ睦嶺裕邦哲紀洋ひと 津里 は と とも 子恵彦平雄る彦也洋子子子廣み子子幸子也恵子み子 泰隆満瑞修真和美弘





土手對辻千千千田田田田立立高高高高高高清鈴鈴白修清島澤砂佐佐佐佐佐酒坂逆斉 水田崎田藤藤藤藤を日本井藤 門嶋馬 葉葉葉中中中中花花松松田瀨杉木野木木川 智千知義惠克陽芙貞こ雅 し勇雄愛香昭啓美眞典祐真久和藤ひ路真宣修康留聖明 一智知 子子子子 佐 づ お之 子子美え子啓り介子子苗

匿匿匿広渡和吉横山矢八向宮宮南南真堀星古伏藤福橋橋橋西西長長中中永中中戸 木 津 名名名瀬辺佐村山下吹田井田岡出 船内川山木川田本本部部田田嶺嶺西川田島川谷 紀幸正忠知道容圭佳由充国裕有春涼 祥徹京美久美 洋洋 香徹太保讓子雄子子信保樹純美子之了子子子三紀紀潔子也妃代子愛哲子子

園



元元めま 北藤ひ琴小麻北日日 石葉幼稚園 一本キリスト教団 一本キリスト教団 一本キリスト教団 一本キリスト教団 一本・リスト教団 一本・リスト教団 一本・リスト教団 ではえるが稚園 ではえるが稚園 ではえるが稚園 のばえるが稚園 のばえるが稚園 のばえるが稚園 のばえるが稚園 のばえるが稚園 のばえるが稚園 のばえるが神園 のばるがはが のがはが のがれるが のが、 のがれるが のがもが のがれるが のがれるが のがれるが のがれるが のがもが のがが のがもが 本 丰 IJ IJ IJ IJ IJ IJ 1] 1] 1] スト スト教団 スト教団 スト スト スト スト スト 教 教 教 教 教 学团团团团团团团团团团 稚稚 幼 園 園 稚

教



1]

寸

真駒内教会子どもの数 真駒内教会 月寒教会 窓会

人会

0 会 K

숲



ピカチュー 折ったよ

# ひとりの手

子供たちと同じ温度で寄り添う笑い声と笑顔で溢れた空間、そ室の見学に訪れた時、子供たち一年二か月前に不安を抱えて相

談室の見学に訪れた時、子供たちの笑い声と笑顔で溢れた空間、その大生やワーカーさんの姿、そしてすんなり」というよりは「ちゃっの様子を見て、是非ここに通いたいと思ったのが始まりです。 相談室はいつも私達を明るく迎え入れ、どんないと思ったのが始まりです。 は所が必要だから休むことはしたくない」と、携わってくれるんだと感激で涙がこみもしっかりともたのを思い出します。カウンセラーの先生や親グループの皆さんの子供たちへの本気の思いに触れ、こんなにも心ないました。沢山の制限下でも「この子たちには今このとせっした。沢山の制限下でも「この子たちには今この子供たちへの本気の思いたと、携わってくれる皆さんの子供たちへの本気の思いたと、たっの子には今このおいました。相談室で出会と、持わってくれる皆さんにも、いつも元気をもらいました。相談室で出会この素がりに心から感謝しています。

息子はゆっくりではありますが、 に通った時間は私の宝物です。グ く想像できるようになりました に通った時間は私の宝物です。グ に通った時間は私の宝物です。グ に通った時間は私の宝物です。グ に通った時間は私の宝物です。グ に通った時間は私の宝物です。グ

した。(Cグループのお母さん)ます。本当にありがとうございま立っていく子供たちを応援してい明るく照らしてくれる相談室と巣ますが、これからも沢山の家庭をますが、これからも沢山の家庭を

「Aはね。ちっちゃい時にいーっ 「Aはね。ちっちゃい時にいーっ え?Aちゃんまだ小さいのに、 よ。先生もいっぱい食べないとね。」 はな食べたから大きくなったんだ はい食べたから大きくなったんだ ても可愛いです。 Aちゃんが言いました。 ハローンの雪遊びの時だ 0

何より驚いたのは、私はその時不調で元気が無かったのです。Aちならないんだけど、まだこの先があるの?私にも同等に未来の期待を持たせてくれたAちゃんありがとう。心がジーンとしてとても短いつでもそこに居て下さったおこりがします。心にポッカリ開いたちびちびちびワーカーでご一緒した大ちびちびワーカーでご一緒した大ちびちびワーカーでご一緒した大ちびちがします。心にポッカリ開いたではどうしたものか。こんな時こそ、Aちゃんが言ってくれたようにみよう。私も大きくなれるかな?みよう。私も大きくなれるかな? の学びや出逢い、元気を沢山頂相談室での実習やボランティア

関そく感から取り残されたような 閉そく感から、何か社会に出たい! 別をく感から、何か社会に出たい! した。釧路にいたころから、障が いのあるお子さんに関わるボラン ティアをしていて、札幌に行った ら、ぜひ、相談室でボランティアは、 をしたい!とずっと思っていまし た。でも、おばさんボランティアは、 た。でも、おばさんボランティアは、 た。でも、おばさんボランティアは、 た。でも、おばさんボランティアは、 た。でも、おばさんボランティアは、 たださんがもした。 ただき活動がはじまりました。 双子の子育てをしていての孤立いたのは、30年前!になります。相談室のボランティアとして関

その後、子育て支援の団体を立ちたりないました。それになったような気がします。お子さんとワーカーの行動を振りお子さんに寄り添った的確なアドバイスとそこから生まれる次への希望がある話し合いは、私にとって見点になったような気がしました。それにすてきだなと思いました。それにすてきだなと思いました。それにすてきだなと思いました。それにすてきだなと思いました。それにすてきだなと思いました。それにずできだなと思いました。それになったような気がしません。 個性豊かなお子さんとの関わりは、どこか、自分に似ていて、となっとできて命の洗濯がでることも魅力ですが、お母さんグることも魅力ですが、お母さんグることも魅力ですが、お母さんグることもない。自分に似ていて、と

# (ちびちび、ボランティアワーカー)いた事に心より感謝申し上げます。

# 支援者のお便り

クリスマス献金に添えて☆ 麻生明星幼稚 園

はうに。 ○神様の愛が降り注ぎ、みんなので立つと嬉しいです。 ○作様の愛が降り注ぎ、みんなのです。 ○日・K) こづかいをためました。や庭に落ちた落葉掃除 袁 スを待つ間 ぶをしてお 間に道路

○このおかねで、せんそうをしてら幸いです。 (K·T) に、少しでもそのお役に立てた

っしょにおてつだいがんばりま♡おにいちゃんおねえちゃんといわせになれますように (M·K)いるくにのこどもたちが、しあいるく

した。こまっているひと、どう♡ごはんをきれいにたべてためま ぞおつかいください。 R H H K

毎日うれしい気持ちで眠れます♡「きょうもたのしかったなぁ」と、 お姉ちゃんと一 世界中の人達が楽しいクリスマ ように。 緒にためました。

上げたり、保育園の運営に携わったりと、相談室には関われなくなったのですが、気になるお子さんったのですが、相談に乗ってもらったりしています。

光代さんがいなくなった相談室

大代さんがいなくなった相談室 っています。

### 支援金の振込みについて

### 2022年1月17日(月)より、 ゆうちょ銀行の送金料金が改定になります。

- ★現金で家庭福祉相談室後援会の振替用紙を用いて振込 み下さる場合に、その払込手数料は受取人である後援会 が負担しておりましたが、改定により「振込み人様にも、 加算料金110円の負担がかかる|ようになります。
- ★振込用紙を使用して、お持ちの「ゆうちょ口座からお振 込み頂くと、振込み人様に加算負担は発生しない | の で、できるだけ口座よりお振込み下さいますようお願い致
- ★振込み用紙を使用せずに、直接「ゆうちょダイレクト」で お振込み頂くと、受取人に手数料がかかりません。

### よろしくお願いいたします。

### 寄付金控除を希望される方へ

相談室は「寄付金控除制度」が適用されます。 後援会に支援金を寄付された方で「寄付金控除」 を希望される方は、家庭福祉相談室(法人)への 寄付に切り替える必要がありますので払込用紙に その旨をご記入下さい。電話での問い合わせは

011-746-6374(家庭福祉相談室) までお願いします。

昨年度の決算を見ますと、振込手数料合計が 28,702円となっています。振込みの際、郵便局の ATMをご利用下さると手数料が節約できます。

大切な支援金の目減りを防ぐため、できるだけ ATMを通してお振込み頂きますようお願い申し 上げます。

### 相談室のホームペー

家庭福祉相談室

索

- 手らして、 きの困いらて気っし、 ていても行きたくても行けなと言った母親の言葉を思い出 こ振 の子が不安定になる 東部地震の時 | 避難 からに 行 行 した。

 $\frac{46}{6374}$ 

会長代行

太田

北海 道クリスチャンセンター 家庭福祉相談室事業後援会

### 2022年度定期総会

日時 5月中旬予定

場所 北海道クリスチャンセンター

相談室活動報告

### 議題

- 1.2021年度事業報告・決算報告に関する件
- 2.2022年度事業計画及び予算に関する件
- 3.2022年度役員及び会計監査選出に関する件
- 4. その他

コロナ禍の折、広く皆様にお集まりいただいての総 会は難しいと判断し、家庭福祉相談室長と主任、後 援会役員のみに縮小して行いたいと思います。御了 承頂きたくお願い申しあげます。ご報告につきましては、 7月発行の相談室だより総会号をご覧下さい。よろしく お願いいたします。

> 相談室事業後援会 役員会

22年度定期総会に関する件 次年度会計監査の 予定 二〇二二年四 件 |月二十

相談室室長・主任との懇談

0)

件

第四 会計報告 回 0

マン

す。

)第三回 相談 定期総会及び支援者の集いに関する件 22年度定期総会に関する件 次年度役員に関する件 「ウッドジム」に関する件 室だより77号に関する件 二〇二二年一月十三日 年十一月十七

送相

後

援

会役

員

会報

ツーマン体制や0才~の親子支援ない、相談室を利用されて今は時間にため、相談室を利用者が来室したくても叶わない利用率の低下が運営を圧も叶わない利用率の低下が運営を圧もいがえのない命を愛する事が根底を「他の事業所と決定的に違うのは、かけがえのない命を愛する事が根底にある」と言います。55年の歴史をにある」と言います。55年の歴史をはある」と言います。55年の歴史をにある」と言います。55年の歴史をがは間いません。元ワーカーの皆さん、相談室を利用されて今は時間に ちました。 室を応援しません後援会で私達と一 ŋ 援会を有志で立 良 61 年3回 Р R 活動 育を目指しての んか?役員一緒に家庭に いて をし 「相談室だより ち上げて てい ま 福

第五

口

二〇二二年三月十五

H

(決算・予算

後援会のPRに関する件

相談室だより78号に関する件

次年度役員(副会長)

0